

都が実施する各種母子保健事業

1 相談事業

		内容	実績
生涯を通じた女性の健康支援事業	妊娠相談ほっとライン	妊娠や出産に関する様々な悩みについて、電話やメールで相談に応じる。 月曜日～日曜日(元日を除く):10時～22時 ※平成31年4月1日から日曜日も開設	【令和元年度(12月末まで)】 3,091件 【平成30年度】 3,086件
	女性のための健康ホットライン	思春期から更年期にいたる女性を対象に、思春期の性の悩み、避妊、婦人科疾患、更年期障害などについて電話やメールで相談に応じる。 月曜日～金曜日:10時～16時	【令和元年度(12月末まで)】 906件 【平成30年度】 1127件
	不妊・不育ホットライン	不妊及び不育症に関する悩みについて、ピア(仲間)カウンセラー等が電話で相談に応じる。 毎週火曜日:10時～16時	【令和元年度(12月末まで)】 306件(うち不育症相談67件) 【平成30年度】 393件(うち不育症相談70件)
子供の健康相談室(小児救急相談) #8000	子供の健康に関する様々な不安や悩みを身近なところで解消し、小児救急医療に関する初期の段階で安心を確保することを目的に、電話で相談に応じる。 月曜日～金曜日(休日を除く):18時～翌8時 土日祝日:8時～翌8時 ※平成31年4月1日から受付時間を拡大	【令和元年度(12月末まで)】 総件数 112,222件 内:小児救急 109,983件 【平成30年度】 総件数 100,600件 内:小児救急 98,541件	
SIDS電話相談	SIDSをはじめ、その他の病気・事故・流産・死産などで赤ちゃんを亡くされたご家族の精神的支援を目的に保健師又は助産師、NPO法人SIDS家族の会の会員が電話で相談に応じる。 毎週金曜日:10時～16時(休日、年末年始を除く)。	【令和元年度(12月末まで)】 実施回数 34回、相談件数 43件 【平成30年度】 実施回数 51回、相談件数 67件	

2 人材育成

	対象	目的、内容
母子保健研修	都、区市町村、医療機関等の母子保健従事者	最新の母子保健に関する専門知識や技術を提供し、母子保健医療の一層の向上を図る。
児童虐待対応研修	東京都内医療機関の医師、歯科医師、助産師、看護師、医療ソーシャルワーカー、児童相談所職員等	児童虐待の発見に関連の深い医療機関関係者に対して、要支援家庭の把握と適切な支援に関する研修を実施することにより、院内虐待対策委員会(CAPS)の運営等において核となる人材の養成や、児童相談所や子供家庭支援センター等の地域の関係機関との連携強化を図り、医療機関における虐待対応力を向上させる。

3 普及啓発、情報提供

	内容	実績
生涯を通じた女性の健康支援事業	20代を中心とした若い世代の男女に対して、妊娠適齢期等に関する正しい知識を伝える。	【令和元年度】 ・普及啓発webサイト ・サイト周知のための広報実施(web広告・SNS広告等) ・普及啓発リーフレット作成(区市町村母子保健担当部署の他、成人式等の若者向けイベントで配布)
	妊娠・出産を希望する方及びそのパートナーが必要な情報を得やすくするため、妊娠・不妊・不育等に関する情報を一元化したポータルサイトを制作する。	【令和元年度】 ・令和2年1月末にポータルサイトを公開
妊婦健康診査受診促進事業	妊婦に対して、早期の医療機関受診と妊娠の届出及び定期的な妊婦健診の受診を促す。	【令和元年度】 ・インターネット広告による受診促進 ・妊娠相談ほっとライン案内カードの配布
TOKYO子育て情報サービス	安心して楽しく子育てができるよう、妊娠、子育て及び事故防止等に関する情報を365日24時間、インターネット及び電話により提供している。	【令和元年度(12月末まで)】 6,280件 内訳:電話 756件 WEB 5,524件 【平成30年度】 9,863件 内訳:電話 1,054件 WEB 8,809件

4 助成事業

	内容	実績
特定不妊治療費助成	特定不妊治療に要する費用の一部を助成する。	【令和元年度(12月末まで)】 12,827件(うち男性不妊治療81件) 【平成30年度】 16,651件(うち男性不妊治療91件)
不妊検査等助成	不妊検査及び一般不妊治療に要する費用の一部を助成する。	【令和元年度(12月末まで)】 4,480件 【平成30年度】 5,190件
不育症検査助成	妊娠はするものの、2回以上の流産等を繰り返し、子供を持ってないとされるいわゆる不育症について、リスク因子を特定するための検査に要する費用の一部を助成する。	【令和元年度】 令和2年1月6日より申請受付開始

平成31年度 母子保健研修実績

回	日時	研修名	講師	会場	定員	申込	実績 (全職種)
1	5月23日 (木曜日) 13:30-16:30	乳幼児の発育発達と子育て支援 ～乳幼児健診の意義とポイント～	あきやま子どもクリニック 院長 秋山 千枝子 氏	東京ウイメンズ ズブラザ ホール	240	204	179
2	6月11日 (火曜日) 13:00-16:45	新生児聴覚スクリーニング ～検査の実際と支援について～	① 国立成育医療研究センター 感覚器・形態外科部耳鼻咽喉科 医長 守本 倫子 氏 ② 国立成育医療研究センター 言語聴覚士 今井 裕弥子 氏 ③ 都立大塚ろう学校 城南分教室 乳幼児教育相談担当 松本 憲子氏	都民ホール	270	190	176
3	7月18日 (木曜日) 13:30-16:30	妊娠期からの切れ目ない支援① 妊娠期・産後・育児期に起こりやすい母 親のメンタルヘルスについて	国立成育医療研究センター こころの診療部乳幼児メンタルヘルス科 診療部長 立花 良之 氏	都民ホール	270	279	253
4	9月12日 (木曜日) 13:00-16:30	妊娠期からの切れ目ない支援② 子育て世代包括支援センター事業の効 果的な進め方 ～利用者目線と支援プランを中心に～	大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 母子保健情報センター 顧問 佐藤 拓代 氏	東京都社会 福祉保健医 療研修セン ター	80	64	57
5	10月17日 (木曜日) 13:30-16:30	妊娠期からの切れ目ない支援③ 産前・産後サポート、 産後ケアの更なる推進に向けて	上智大学総合人間科学部 看護学科 教授 日本助産師会会長 島田 真理恵 氏	東京都社会 福祉保健医 療研修セン ター	80	46	42
6	11月5日 (火曜日) 13:30-16:30	支援に繋がりにくく妊婦への支援	① 東京都女性相談センター 所長 ② 特定非営利活動法人 BONDプロジェクト 代表 橘 ジュン 氏 水野 ちひろ 氏	東京ウイメンズ ズブラザ ホール	250	170	156
7	12月10日 (火曜日) 13:30-16:30	母子保健における感染症対策	国立感染症研究所 感染症疫学センター 第三室長 多屋 馨子 氏	都民ホール	280	173	158
8	12月16日 (月曜日) 13:30-16:30	母子保健における保健師の役割 ～死亡事例から私たちが学べること～	杏林大学 保健学部看護学科口 地域看護学研究室 教授 大木 幸子 氏	武蔵野商工 会議所 市民ホール	80	59	53
9	1月29日 (水曜日) 13:30-16:30	「育てにくさ」を感じる親に寄り添う ～早期発見・早期支援のために～	① 子どもと家族のメンタルクリニック やまねこ 院長 田中 哲 氏 ② 東京都ペアレントメンター	東京都社会 福祉保健医 療研修セン ター	270	319	302
10	2月12日 (水曜日) 13:30-16:30	不妊治療の実際と心理面の 支援について考える	① 梅ヶ丘産婦人科 ARTセンター長 齊藤 英和 氏 ② 公認心理師 生殖心理カウンセラー 永井 静香 氏	東京ウイメンズ ズブラザ ホール	240	159	151
合 計					2,060	1,663	1,527

※ 受講対象者は、東京都・区市町村の母子保健医療従事者(医師、保健師、助産師、看護師、栄養士、歯科衛生士、保育士、児童福祉従事者 等)

※ 第1回は、乳幼児健診を受託している都内医療機関職員含む

※ 第2・3・6・10回は、都内妊婦健康診査実施医療機関・助産所職員含む

※ 第7回は、都内小児科医療機関職員含む

平成31年度 児童虐待対応研修実績

回	開催日時	研修会場	研修テーマ	講師	参加実績
基礎講座第1回	6/10(月) 18:45～20:30	東京 ウイメンズ プラザ	児童虐待の医学診断 ～児童虐待事例と対応の実際・院内連携について～	松戸市立総合医療センター 小児科医長 小橋 孝介 氏	180名 (内訳) 医師 19名 看護職 103名 MSW 23名 その他病院職員等 19名 歯科医療機関 4名 その他 12名 参加医療機関数 90
基礎講座第2回	9/19(木) 18:45～20:45	府中市 バルトホール	医療機関で出会う気になる親子の特徴 ～虐待への気づきと医療機関でできる支援～	おかたこどもの森クリニック 院長 岡田 邦之 氏	151名 (内訳) 医師 10名 看護職 84名 MSW 32名 その他病院職員等 17名 歯科医療機関 1名 その他 7名 参加医療機関数 73
専門講座第1回	7/4(木) 13:30～16:30	都民ホール	法律からみた児童虐待	くれたけ法律事務所 弁護士 磯谷 文明 氏	233名 (内訳) 医師 19名 看護職 123名 MSW 49名 その他病院職員等 30名 歯科医療機関 1名 その他 11名 参加医療機関数 101
専門講座第2回	8/27(火) 10:00～16:30	都民ホール	虐待予防のための親支援～虐待をしてしまう 心理の理解～ 養育家庭・ステップファミリーにおける親子関係の理解	とよたまこころの診療所 所長 鷲山 拓男 氏 NPO法人虐待防止協会理事長 津崎 哲郎 氏	249名 (内訳) 医師 17名 看護職 126名 MSW 56名 その他病院職員等 29名 歯科医療機関 4名 その他 17名 参加医療機関数 96
専門講座第3回	10/24(木) 10:00～16:00	都民ホール	虐待の発見・対応のためのチェックリスト・カルテの活用について ～院内虐待対策委員会(CAPS)設置病院の取組～ 画像診断からみた児童虐待	①東邦大学医療センター大森病院 地域医療支援センター課長 MSW 松本 幸則氏 看護部 小児看護専門看護師 竹田 佳子氏 ②杏林大学医学部付属病院 患者支援センター課長 精神保健福祉士 加藤 雅江氏 埼玉県立小児医療センター 副院長/放射線科 小熊 栄二 氏	177名 (内訳) 医師 16名 看護職 85名 MSW 44名 その他病院職員等 15名 歯科医療機関 1名 その他 16名 参加医療機関数 83
専門講座第4回	12/2(月) 10:00～16:30	東京ウイメンズ プラザ	虐待・ネグレクトを受けたことが疑われる子どもから話を聞くということ ～司法面接の視点で～ 児童虐待における検察の取組 司法における医療機関の役割	認定NPO法人チャイルドファーストジャパン 理事長 /山田内科胃腸科クリニック副院長 山田 不二子 氏 東京地方検察庁総務部犯罪被害者支援室 室長 検事 濱川 はるな 氏 前橋赤十字病院 小児科副部長 溝口 史剛 氏	236名 (内訳) 医師 18名 看護職 106名 MSW 54名 その他病院職員等 25名 歯科医療機関 1名 その他 32名 参加医療機関数 92
専門講座第5回	1/16(木) 10:00～16:00	都民ホール	虐待予防と愛着形成に向けて ～日本産婦人科医会の取り組み～ 特定妊婦への支援の実際 ～医療機関と地域との連携の取り組み～ 妊娠期からのハイリスク家庭の発見と支援	さがらレディースクリニック 院長 相良 洋子 氏 葛飾赤十字産院 産婦人科外来係長 江藤 昌子 氏 東京女子医科大学 医学部 産婦人科学准教授 水主川 純 氏	223名 (内訳) 医師 15名 看護職 119名 MSW 51名 その他病院職員等 24名 歯科医療機関 6名 その他 8名 参加医療機関数 95
【平成31年度実績】 参加延数 1449名					1449名 (内訳) 医師 114名 看護職 746名 MSW 309名 その他病院職員等 159名 歯科医療機関 18名 その他 103名